

P E T / C T 検査の説明

検査の方法とその特徴

¹⁸F-F D G-P E T / C T 検査

¹⁸F-F D G-P E T / C T検査はグルコースによく似た放射性医薬品を注射し、ブドウ糖代謝の盛んな腫瘍あるいは脳に取り込まれた状態を画像化し、がんなどの診断をする検査です。

平成20年12月から、最新鋭 C Tとの一体型装置P E T / C Tが導入されました。

検査は¹⁸F-F D G注射後約1時間安静にさせていただき、薬が十分に目的とする部位に集積するのを待ってから撮影が始まります。撮影は細長いベッドに横になっているだけの検査です。撮影時間は20分～40分ほどかかります。場合によっては、30分後に追加撮影を行うことがあります。

この検査には前処置として絶食が必要です。詳細はP E T / C T検査の前処置をご参照ください。

放射線による影響

通常のP E T / C T検査では、検査を受ける人に、放射線による影響はほとんどないと考えられていますが、ご心配の場合は、主治医や核医学医にご相談ください。